



第480号

スズキ労連

2021年
8月号スズキ関連労働組合連合会
静岡県浜松市南区増楽町20
電話(053)447-3079 FAX.053-440-2838
発行人 武藤憲司
編集人 村松直樹

2021年安全標語

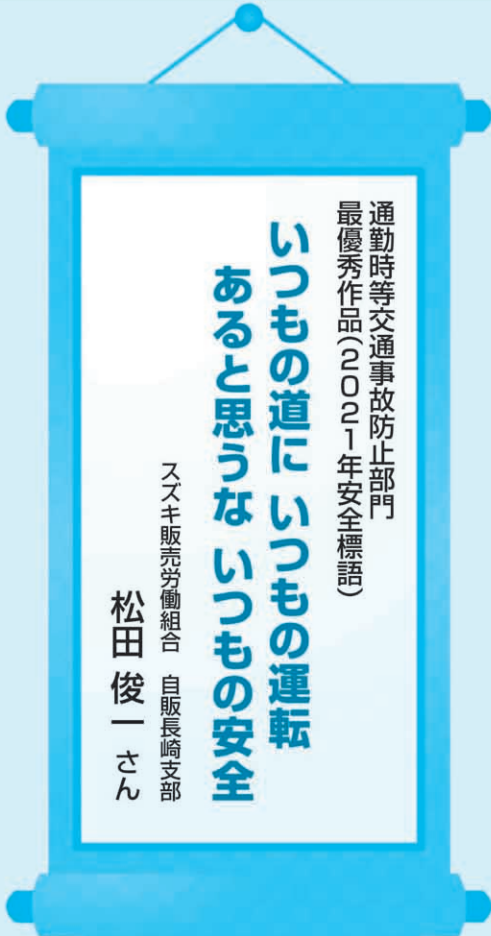
通勤時等交通事故防止部門 結果発表!

応募総数：7,012件
労働災害防止：5,628件
交通事故防止：1,384件
(昨年応募4,421件)

9月より秋の交通安全運動が始まります

スズキ労連が毎年開催している安全標語において、前回より『通勤時等交通事故防止部門』を新設し募集を行いました。2021年の安全標語全体で7,012名の応募があり、審査の結果、11作品の入賞を決定しましたので発表します。なお最優秀賞1作品、優秀賞の5作品については標語ポスターを作成し、9月の交通安全運動期間より各組合で掲示をします。

全国一斉、秋の全国交通安全運動も9月21日(火)～9月30日(木)に実施されます。自動車業界に勤める私たちは普段から安全運転を心がけていますが、今一度、普段の運転を見直してみましよう!

スズキ販売労働組合
自販長崎支部 松田俊一さん通勤時等交通事故防止部門
最優秀作品(2021年安全標語)いつもの道にいつもの運転
あると思うないつもの安全

スズキ販売労働組合 自販長崎支部

松田俊一さん

2021受賞作品一覧(通勤時等交通事故防止部門)

受賞	安全標語	組合名	支部名	名前(敬称略)
最優秀賞	いつもの道に いつもの運転 あると思うな いつもの安全	スズキ販売	自販長崎	松田 俊一
優秀賞	車間距離 心のゆとりの距離が出る 時間の余裕で安全確保	部品製造	スズキ精密	日置 初代
	守ろうよ スマホ見ないで 道路見て 自分で守る 家族の未来	スズキ納整	中日本 湖西	井嶋 雅人
	マイルール 誰もそんなの知りません みんなで守ろう 交通ルール	新潟販売		藤田 一義
	横断歩道、車も人もよく確認、お互い笑顔で安全を	スズキファイナンス		杉本 貴俊
	車間とり 急がず焦らず 煽らずに ゆずる心で変わる運転	スズキ販売	自販奈良	吉野 知樹
佳作	慣れた道 慣れた運転 事故の元 危険を予測し ゼロ通災	ベルソニカ	本社	渥美 昌久
	心にゆとり、時間にゆとり、安全、安心、気配り通勤	ファイナンス		伊藤 洋基
	春の朝 若葉をゆずり 無事誓う	部品富山		片口 直哉
	運転はユトリを持って危険予知!急ぐ気持ちが事故を呼ぶ	部品製造	スズキ精密	儀光 明男
	「もしかして」 車の陰から飛び出すぞ 注意一瞬 怪我一生	新潟販売		猪熊 啓介

たくさんの応募ありがとうございました!



会場風景

自社の現状を分析し 労使交渉に役立てよう!

第18回 賃金研修会開催!

2021年7月16日(金)～17日(土)スズキ労連主催、第49期賃金セミナーを現地・WEB併用で開催しました。講師には公益財団法人日本生産性本部の村上和成^{むらかみ かずしげ}さんを迎え、46名(現地16名、WEB30名)が参加しました。

今回は昨年11月に開催した基礎編に続く、応用編として設定をしました。2日間に渡る講義は、人事賃金制度の構造を学ぶ所から始まり、賃金制度の概論、基本給の再設計の考え方、賃金制度の運用方法などを学び、演習では参加者が自社の賃金プロットの分析と診断を行い、自社賃金の賃金制度の理解を深めました。

2日間のセミナーについて、参加者の皆さんから、「自社の所定内賃金がプロット図で再認識できた」「現状をどのように分析し、要求を決めていけば良いかがわかった。春の総合生活改善の取り組みに役立てていく」などのアンケート結果を頂き、非常に好評でした。

今後も組合役員向けのセミナーを開催していきたいと思えます。



スズキ労連 嶋副会長



公益財団法人 日本生産性本部 村上和成 講師

本セミナーでは、
新型コロナウイルス対応のため、

- ・マスク着用
- ・参加者同士のソーシャルディスタンスの確保
- ・座席の制限
- ・講義中、休憩中の室内換気
- ・机、椅子などのアルコール消毒
- ・手指のアルコール消毒、うがい薬の設置

等を行って開催しました。



WEB受講の様子

◆今年も自動車総連積立年金の加入申込を行っております。◆

スズキ労連が加盟する上部団体、自動車総連のスケールメリットを生かして運営しているこの積立年金、自動車総連傘下の組合員しか加入できません。この機会に是非お申し込み下さい！

自動車総連 積立年金の3つのポイント

1 運用利率は予定利率 年1.25%+配当率

- 予定利率については将来変更される場合があります。
- 毎年の配当金はそれぞれのお支払時期の前年度決算により決定しますので、現時点では確定していません。
- 決算実績によってはお支払いできない年度もあります。また、配当金が生じた場合には積立金の積増に充当されます。

2 目的に合わせた 2コース

個人年金保険料控除の適用が受けられる「個人年金コース」と、途中払い出し(減口)が可能な「一般積立コース」(税務の取扱いについては税制改正により、今後変更となる事があります。)

3 積立途中でも口数を 自由に変更できます

年2回→春・秋募集期間中に月払いは千円(1口)から、ボーナス払いは1万円(1口)から口数変更OK
また、年2回まとまったお金を一時払で積み増す(一時払積増)こともできます

秋の募集は10月26日(火)まで ※スズキ労連必着
※加入日は2022年2月1日(火)からとなります

お問合せは、勤務先の労働組合・スズキ労連・自動車総連・
または明治安田生命自動車総連担当(0120-827-050)まで

未来のお金を貯める方法セミナー

将来不安はありませんか？

今できることから始めて、時間を味方につける

日時 2021年9月29日(水) 18:30~20:45

講師 株式会社FPユニオンLabo 代表取締役社長 宮越肇氏

締切 2021年9月15日(水)まで

参加費無料 / WEB開催



Google フォーム

申込みはこちら!

前回受講者の声



- お金は銀行に預けておくだけではもったいないと改めて感じました。
- 資産運用については全くの初心者でしたが、わかりやすい勉強になりました。
- 講師の実際の運用についてもお話を聞かせて頂き、とてもためになりました。

- 募集人数に達し次第締め切ります。定員100名
- お申し込みは組合事務所、またはスズキ労連まで
お問合せ先: スズキ労連事務局
053-447-3079



どんなことでもOK!
お気軽にご相談下さい。

スズキ労連
労働相談
窓口

仕事、職場、労働条件、コンプライアンス、人間関係、私生活…
悩みはいろいろあるけれど、職場ではちょっと相談しにくいなあ。

こんな時にはお電話を!

0120-500-073

*月~金 9:00~18:00

相談無料・秘密厳守



【スズキ労連】 機関誌に対するご意見・ご要望が
ございましたら編集部までお気軽にお寄せ下さい。

編集部 〒432-8062 浜松市南区増楽町20
TEL.053-447-3079 FAX.053-440-2838
e-mail : muramatsu@suzuki-union.or.jp

◇スズキ労連ホームページ◇

<http://saw.gogo.tc/>

*スズキ労連の福利厚生・

スズキ労連機関誌

共通パスワード… saw2007



【編集後記】

前任の人たちが後記に何を書いているのか見てみると、かなり真面目な事を書いている場合が多く、私は結構気ままに書いているなあ、と今更ながら感じました。私が担当の機関誌は恐らく次号で最後ですが、恐らくまた気ままに書きます。むーらー

2021年
スズキ労連
車両寄贈

スズキ労連より車両2台の 寄贈を実施しました。



フードバンクふじのくに 日詰理事長(左)と、スズキ労連 武藤会長(右)

2021年7月26日(月)に、「フードバンクふじのくに(静岡市葵区)」にスズキ労連としてエブリイとキャリイ保冷車の2台を寄贈しました。「フードバンクふじのくに」は、印字ミスや外箱の破損等で処分せざるを得ない食料を預かり、本当に食料を必要としている人や場所に届ける、フードバンク事業を行っています。食品を運搬に使用する車が不足しており、軽保冷車に関しては初年度届出より11年が経過していたとの事で、今回の寄贈を大変喜んでいただきました。

毎年夏に実施している「スズキ労連・自動車総連 福祉カンパ」を行うことで、スズキ労連としての社会貢献活動につながっています。引き続き、組合員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

寄贈者代表挨拶：スズキ労連 武藤会長

今回の寄贈は、毎年夏に実施している福祉カンパで集まったお金の自動車総連目標以上となった金額を積み立て、実施に至りました。スズキ労連として集めたカンパ金の目標金額以上となった部分を積み立てることができるよう、2016年に「福祉活動基金」を設定しました。基金の設定後、毎年積み立てを実施し、車両寄贈を行える金額に到達したため、スズキ労連としての独自の寄贈を検討しました。

今回が初めての寄贈となる為、まずは多くの組合が所在する静岡県内にて寄贈を行うこととしました。また寄贈にあたっては可能な限り県内の多くの方に貢献できる施設にということで検討を進め、生活に困窮し支援を必要としている方に食料を届ける活動を行っている「フードバンクふじのくに」様を選定しました。2万9千名の組合員の「福祉のこころ」として受け取って頂き、施設運営に役立てて頂きたい。

施設代表者挨拶：フードバンクふじのくに 日詰理事長

この度はスズキ労連 2万9千名の「福祉の気持ち」を私どもフードバンクが代表して頂くことができ、本当に感謝に堪えません。頂きましたキャリイ保冷車、エブリイを大切に使用させていただきます。

私どもフードバンクの活動をするにあたっては、食料の運搬は不可欠なものであり、車両の寄贈は大変ありがたい。頂いた車両を使って、食料を必要とされている方にお届けができるように活動を進めてまいります。



food bank FUJINOKUNI
フードバンクふじのくに
「もったいない」から「ありがとう」へ

食料を無駄にせず
食を分かち合い
命や人権を守る



フードバンクふじのくにホームページはこちら↑
<https://fb-fujinokuni.org/>